

かわらばん 妻入り

事務局

新潟県出雲崎町

教育委員会

☎0258-78-2250

FAX 78-4559

第6回まちなみネットワーク 出雲崎大会 開催!

昨年の11月19日(日)、天領の里において「第6回まちなみネットワーク 出雲崎大会」が開催されました。この大会は新潟県まちなみネットワークが主催し、新潟県内の「まちなみ」(歴史的建造物を含む)に係る人達がネットワークを持ち、相互学習、情報交換を行い、協力し合うことで、県内における各地域の活動を前進させ、同時に新潟県下に「まちなみ」の価値意識を普

な動きに発展させることを目的に、平成18年度から行われているものです。

第6回目となる今回は、当町を会場とし、午前中は「街歩き」出雲崎町妻入りの街並案内としてまちなみネットワークの会員を対象として、良寛堂から天領の里までの街並散策をしました。

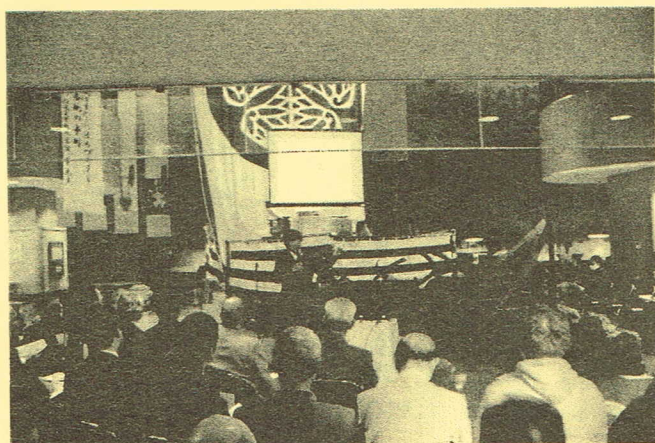
午後からは「まちなみシンポジウム」として一般の方たちも交え、松

蔭大学観光文化学部教授 古賀学氏を講師に迎え、『町並み景観をいかしたまちづくりと各地の事例』というテーマでの基調講演をしていただきました。講演の中では、各地域がそれぞれに持っている古くからの町並みを観光資源として生かすこと、またそれにはおもてなしの心を感じるような景観をにしておくことの重要性などについてのお話をされていました。

観光資源としてのまち並み景観
づくりにおける視点

1. 地域が誇る時代の一断面を捉える。
2. その時代にふさわしい素材を使う。
3. 景観にテーマ性を持たせる。
4. 景観が持つ意味を探し出し、その意味を的確に伝える。
5. 会話のあるまちづくり

また、その後の事例発表においては、当日参加した13のまちなみネットワーク参加団体から、それぞれが現在まちなみ活性化のためにしている様々な事業について発表をし、町並みに対する意識の共有を図りました。このシンポジウムには、一般の参加者も含めて約80人の方が参加されました。



「妻入りの街並みをご案内して」
井鼻 渡辺 モト

十一月十九日「県まちなみネットワーク」出雲崎大会に、県内からお集まりの皆さんから、妻入りの街歩きをしていただきました。

午前中、この日は良寛さんの優しい歓迎の涙雨を頂戴しながらの街歩きとなりました。出雲崎町のシンボル良寛堂から、しつとりと息づいている風情ある北国街道出雲崎宿の栄華跡を、順次心を込めてのご案内でした。

この地は、当時越後にいち早く江戸幕府の代官所が置かれ、広く三百か村を治めた地、また佐渡金銀の荷揚げ港、北前船の寄港地、北国街道宿場町、そして良寛が生まれ、松尾芭蕉を初めとする文人墨客が多く訪れるなど、想像を絶する賑わいを見せていた出雲崎町。天領の里までの二時間コースを、私の言葉足らずの下手な説明でも、深くうなづいてじっくりと聞いてくださいました。

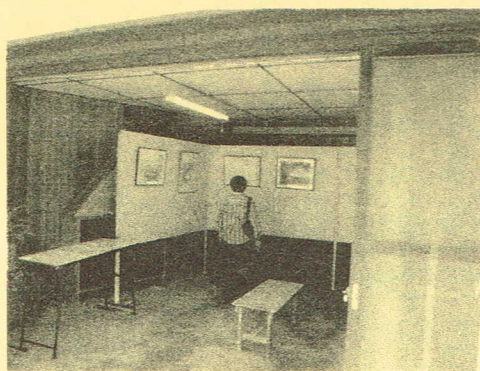


今日訪れた皆さんは、特に街並に関心度の高い方々ばかり。道中、皆さんから素晴らしい感想が聞かれました。街並みの中の一區間でいいから、所々にお土産屋や食堂が欲しい、その区間内で地元のお年寄りや触れ合いながら浜焼きや鮮魚などを買いたい、更に羨ましいほど素材のあるこの街で体験滞在したいなど、聞き漏らせない貴重な感想をいただくことができました。

街並ギャラリー開催

昨年の10月8日(土)から10日(月)の3日間開催しました、「第7回妻入り街並ギャラリー」と「街並スケッチ画展 in 町民体育館」の模様をお伝えします。

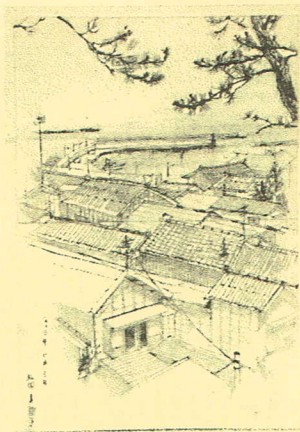
東京藝術大学日本画科の大学生および院生が毎年夏に当町を訪れ街並を描いたスケッチ画を、海岸地区の町屋等に展示する「街並ギャラリー」も、今年で7回目を迎えました。



今回は初めての試みとして、毎年行っている妻入りの町屋等10会場での展示に加えて、町教育委員会と共同で「街並スケッチ画展 in 町民体育館」として町民体育館でのスケッチ画展示も同時に行い、昭和63年から今年度までに描かれたスケッチ画全346点全てを展示しました。

今までに描かれた作品の中には、今では画壇にその名を連ねる方々が東京藝大在籍時に描いた作品も多数存在し、訪れた多くの方が作品に見入っていました。

今回のギャラリーには、3日間で延べ600名を超える方が来場され、成功裡に開催することができました。



妻入りの街(四十三)

住吉町 磯野 猛

人物往来

江戸時代を通じて「浮世草子」

という分野で大活躍した井原西鶴

(いはらさいかく)は『好色一代

男』や『好色五人女』『世間胸算用』

『日本永代蔵』など元禄文学を代

表する多種多様な作品を残した文

学者です。その『好色一代男』と

いう作品に出雲崎町のことがか

かれております。大正期の「早稲田

文学」の七月号に作家の田山花袋

(たやまかたい)と云う人がその

中で井原西鶴が『好色一代男』の

主人公世之助が船で出雲崎の町へ

来て遊興に時を過ごした様子など

書いたものを紹介してあります。

粗筋は、商売で大阪から船に乗り

北前航路の日本海へ出て、三国港、

能登半島をめぐる七尾・魚津・

越後出雲崎、それから羽後の酒田

港と北前船は荷物だけでなく旅人

も一緒に運んだ様子が書かれてお
ります。そして田山花袋という作
家は今でも大阪情調が金沢・新
潟・酒田・秋田の港町に残されて
いるようだ、と書いております

大正時代この

「早稲田文学」を

読んだ出雲崎の佐

藤耐雪翁は、早速

「西鶴全集」の一

代男を読み、世間

の人が西鶴が出雲

崎へ来るわけがな

く、あの文章は聞

きかじりの作品だ

などの説を否定し

て、港の様子や、

遊藝の話は現地に

来たからこそ書け

たのだ、と大正六

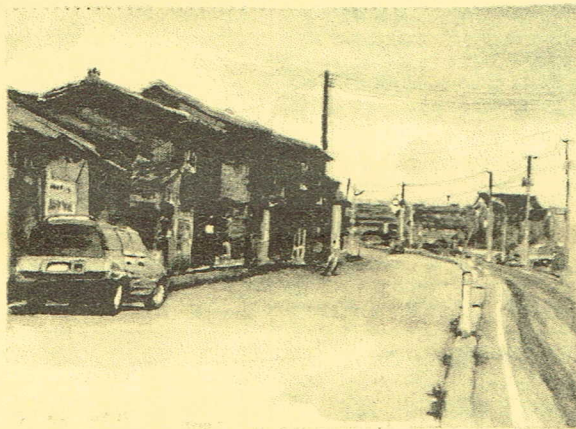
年十月十四日の中越新報に書いて

おられます。

そしてその百五十年後の文政時

代『東海道中膝栗毛』の弥次さん

喜多さんで有名になった十返舎一



九(じつぺんしゃいっく)のこと
も書いておられます。『日本道中金
の草鞋(にほんどうちゅうかねの
わらじ)』という本に出雲崎のこと
が書かれております。

十返舎一九が出

雲崎へ来て、江戸

で知り合った尼瀬

町の廻船問屋の元

締をやっていた山

崎道也という人の

家を訪れたとき、

毎日のように江戸

や大阪から来る人

が訪れるので、こ

の家のおかみさん

が、二階で昼寝し

ている主人を起こ

さず、「主人は一寸

出かけて留守でご

ざいます」と云うと、一九は「い

やあ、では少し待たせてもらうよ」

と茶の間の上り口で腰を下ろし、

帰る様子がないので、おかみさん

は裏二階で寝ていた主人にそっと

知らせました。道也主人は二階の
障子戸から下の茶の間を見ると知
り合いの十返舎一九でしたから、
そろりと身支度をととのえて裏口
から小路を通り、さもさも今帰っ
たばかりという顔をして、「只今帰
ったぞ」と少しばかり大きな声で

茶の間へ入りました。すると一九

が「いよう、忙しそうだねえ」と

声をかけます。道也主人も大げさ

に「いやあ、一九先生」とばかり

に早速茶の間で久しぶりの話題が

弾みました。

その夜二人は石井町の料亭けん

どん屋で酒席の宴を張り多くの藝

妓衆を集め大騒ぎをします。この

事がこの本の中でおもしろく書か

れています。そしてそのころ流行

していた「藤八拳」や「狐拳」な

どもおもしろくおかしく記述され

ております。『出雲崎町史』に収録

されております。このようなこと

をかつての繁栄した港町文化の一

つとして耐雪翁が『中越新報』と

いう新聞に発表しておられます。

お知らせ

『天神さま街道』開催！
出雲崎・柏崎・刈羽の各地で天神さまを展示

毎年1月から3月の初めごろまで行っている「天神さま街道」を、今年度は出雲崎・柏崎・刈羽の3地区協同で下記のとおり実施します。展示期間・休日は会場により異なりますのでご確認ください。

【お問い合わせ先】

・三忠呉服店

(Tel) 0257-22

3624

・天領の里 (Tel) 78

4000

※「天神さま」をお持ちの方で、貸していただけの方がいらつしやいましたら、教育委員会 (Tel) 78-2250) までご連絡ください。

番号	会場	住所	展示期間
①	天領の里 時代館	出雲崎町尼瀬 6-57	1/21 (土) ~ 3/4 (日)
②	北国街道 妻入り会館	出雲崎町稲荷町	1/27 (金) ~ 2/25 (土)
③	うつわの店 いづも	出雲崎町稲荷町	1/21 (土) ~ 3/4 (日)
④	大黒屋菓舗	出雲崎町尼瀬 293	1/21 (土) ~ 3/4 (日)
⑤	石地郵便局	柏崎市石地 712	1/5 (木) ~ 1/25 (水)
⑥	藤本 利彦	柏崎市石地 617	1/8 (日) ~ 1/25 (水)
⑦	吉田 隆介	柏崎市宮川 2295	1/8 (日) ~ 1/25 (水)
⑧	柴長ルーフサービス	柏崎市荒浜 2-5-16	1/8 (木) ~ 1/25 (水)
⑨	刈羽郵便局	刈羽村刈羽 713-4	1/5 (木) ~ 1/25 (水)
⑩	おこめハウスイマイ	刈羽村滝谷 545-1	1/5 (木) ~ 1/25 (水)
⑪	リサイクル ほそ山	柏崎市原町 5-58	1/5 (木) ~ 1/25 (水)
⑫	安田館	柏崎市安田 1724-3	1/5 (木) ~ 1/25 (水)
⑬	岬館	柏崎市番神 2-10	1/5 (木) ~ 1/25 (水)
⑭	原 惣衛門工房	柏崎市大久保 2-3-12	1/5 (木) ~ 1/22 (日)
⑮	カフェ えとせとら	柏崎市新橋 3-29	1/5 (木) ~ 1/25 (水)
⑯	高橋 功一	柏崎市東港町 4-13	1/26 (木) ~ 1/31 (火)
⑰	大崎祝儀折物店	柏崎市西本町 1-11-20	1/5 (木) ~ 1/25 (水)
⑱	ギャラリー十三代目長兵衛	柏崎市学校町 3-12	1/5 (木) ~ 1/25 (水)
⑲	ビューティーハウス・イヴ	柏崎市東本町 1-15-5 フォンジュ 1F	1/5 (木) ~ 1/25 (水)
⑳	ぶんぐとじむきオオガケ	柏崎市四谷 1-10-30	1/5 (木) ~ 1/25 (水)
㉑	三忠呉服店	柏崎市四谷 1-12-37	1/5 (木) ~ 1/25 (水)

あ と が き
新年明けましておめでとうござ
います。

今年も寒く長い冬がやってきま
した。車の運転には、気を遣い又
燃費は悪くなり家計にも厳しいで
すね。ガソリンや、灯油の価格は
上がり傾向にあり、円高の恩恵は
どうなっているのでしょうか。

消費税も近々上がるような報道
も耳にしますが、デフレ傾向に拍
車がかかるようではないでしょう
か。商品は買い替えなくなり、病
院での治療も回数が減り具合の悪
い人が増えてしまわないか心配で
す。政治家は一般国民のことは何
も考えなく、他国の援助を優先し
ているように思えてなりません。

そのような財源があるなら被災
者の生活費の方に回した方がとて
も価値があるのではないですか。
愚痴を言ってもどうにもならな
いのですね。新年早々いい話でな
くてすいません。

石井町 納谷 稔